

# あらかると ケンオリ PRESS



## INDEX 2

### SPECIAL EDITION

「縁起だるま」で満願成就—白河市だるま市—

この町のココがすごい

玉川村「PR動画制作」

3

浜中会津来て見なサイト紙上版 福島県の今ドキ「まちの駅」シリーズ⑩

会津美里町「まちの駅 会津美里」

4

マーケティングスパイス2

今日は何の日？カレンダー

4コママンガ「てっこちゃん」

動画COCOARアプリの使い方

## 「縁起だるま」で満願成就 —白河市だるま市—

300年以上の歴史を持つ白河市だるま市は、例年15万人以上の観光客が訪れ、みちのくの春を告げるお祭りとして賑わいを見せています。2月11日に開催される「だるま市」をより楽しめるよう、発祥の由来や白河だるまの特徴、市の見所などをご紹介します。



▲だるま販売の様子

### 白河市だるま市発祥の由来

始まりは江戸時代白河藩主松平定信公が治めていた時代、白河では鎌倉時代から続いている「花市」と呼ばれる造花の市が開かれていました。松平公は、城下の繁栄をはかりお抱え絵師・谷文晁(たにぶんちょう)に命じてだるまを作らせ、旧正月の14日に大手門前に花市を張らせ、花と一緒にだるまを

売らせたのが始まりとされています。

現在では、だるまの方が有名になり造花の文化は残っていませんが、昔は「花市」「市神様」と呼ばれていました。今の「だるま市」という名称は、昭和38年から呼ばれるようになり、昭和49年より2月11日「建国記念の日」に行われるようになりました。



▲会場の様子

### 白河だるまの特徴

谷文晁が考案彩色しただるまは、まゆは鶴、口ひげは亀、顔の両側に松と梅、口の下に竹を模様化し「鶴亀」「松竹梅」が描かれています。白河だるまには18種類の大きさがあり、最初は



▲特徴

小さなだるまから年々大きのだるまを買い増やす末広がり縁起物として利用されています。また、色にもそれぞれ意味があり、白いだるまは「開運祈願」、赤いだるまは「厄除け」と「家内安全」の御利益があるとされています。この他にも「恋愛・子宝」のピンクや「勉強・仕事」の青などもあるので目的別で選ぶことも出来ます。

### 市を賑やかすご当地商品

本町から天神町に至る市内の目抜き通りを中心におよそ700軒もの露店が立ち並び、「だるま」以外にも様々な商品が市を賑わせます。「だるま最中」「だるまバーガー」などのユニークな商品の他に、「どんと焼き」や「もちまき」などもあります。また、だるま市本部であるマイタウン白河では、ラーメン部会による白河ラーメンが販売されます。この日しか食べられないこのラーメンは限定1,000食となっております。



◀だるま最中



だるまバーガー▶

### 会場場所

天神町・中町・本町

### 日程

平成30年2月11日(日)  
9:00~19:30





福島県内の町や村。そこだけで独自に  
発展しているおもしろい事の紹介コーナー

この町の、ココがすごい

vol.43

玉川村「PR動画制作」

玉川村では、村を村内外の多くの方に知ってもらうため、PR動画を制作しています。動画は村の特産品である「さるなし」をメインに制作したものや、福島県出身のシンガーソングライター、MANAMIさんとコラボレーションしたものなど、合計3本制作され村のHPなどで公開されます。

玉川村の特産品といえば

3本の動画のうち、2本は玉川村と地域づくり協定を結んでいる玉川大学(東京都)の学生が企画・撮影を行いました。1つ目は、村の特産品である「さるなし」が「あまりの美味しさにサルが食べてすぐになくなってしまふこと」から名づけられた」という説に注目し、本当にサルは「さるなし」を食べるのか検証したユニークな内容です。この動画は15秒のCMとなり、KFB福島放送主催の「ふくしまの元気!応援CM大賞2017」で見事「福島県知事賞」を受賞し、年間50回放送されることになりました。また、もう1つの動画も「さるなし」を違った形でPRした内容になっており、完成次第、村のHPや村公式のYoutubeチャンネルにアップする予定です。



▲CM大賞で県知事賞を受賞した作品がコチラ

村の良さを分かりやすく伝える

最後の1つは、シンガーソングライターのMANAMIさんが玉川村のイメージソングを作成し、その曲に合わせたミュージックビデオ風の動画です。MANAMIさんが村をめぐり、地元の人と触れ合う様子がメインとなっており、玉川村の名所や自然豊かな風景だけでなく、人のあたたかさを感じられるような動画になっています。また、MANAMIさんが村を訪れ、実際に見て感じたことが書かれた歌詞と優しいメロディーのイメージソングにも玉川村の魅力が詰まっています。

これらの動画は、多くの方に興味をもってもらえるよう、今後さまざまな場面で活用される予定です。

「さるなし」とは  
食物繊維やビタミンCが豊富で美肌、便秘改善などの効果があるといわれています。味はキウイフルーツに似ておりとても濃厚でおいしくそのまま食べたり、ジュースやアイス、お酒にしたりしています。



▲撮影風景

玉川村役場 総務課  
TEL 0247-57-4621  
<http://www.vill.tamakawa.fukushima.jp/>



うつくしまふくしまブラあるき  
浜中会津より思いをこめて

ふくしまの、地域の今、彩発見。

vol.30

福島県の今ドキ「まちの駅」シリーズ③  
会津美里町「まちの駅 会津美里」

「まちの駅」シリーズ第30弾。平成17年10月に、会津高田町、会津本郷町、新鶴村の3町村が合併してできた会津美里町。その本郷インフォメーションセンターが「まちの駅 会津美里」です。



会津はここからはじまった。古事記の四道將軍伝説にゆかりのある場所として、東北地方で唯一つづられている「相津発祥の地」会津美里町。歴史あるこの町の旧本郷地区に、地域の方々はもちろん、観光客への情報を発信する会津美里町本郷インフォメーションセンターがあり、「まちの駅 会津美里」としてとりくんでいます。本郷は、昔から県内でも有数の焼物の産地で、年間を通して、絵付けやろくろ体験、陶器まつりなどさかんにおこなわれています。会津美里町として、今年で13年がたちますが、高田、本郷、新鶴それぞれの地域性をいかした「みさと」の文化を、ここからお届けしています。



▲佐竹課長



▲地酒コーナー

「あ いづじげん」って、ご存じですか?合併5周年記念に誕生した、会津美里町のイメージキャラクター。高田生まれで、徳川將軍三代につかえた名僧侶天海大僧正の諡号、慈眼大師から名づけられましたが、会津の民芸品、起上り小法師を彷彿とさせる独特な雰囲気があります。会津は、蘆名家にはじまり、伊達家、蒲生家、上杉家がおさめ、その間、この地にある日本最大級ともいわれる天然の要害、向羽黒山城を戦の砦としました。江戸期には保科家が入封。三十三所の観音巡礼がはじまり、平成28年、三十三観音めぐりが日本遺産に認定。そのうち美里町には10塔の観音寺があり、特に京都清水寺にも似た「左下り観音堂」は、他に類を見ない一塔です。



▲会津美里町のイメージキャラクター「あいづじげん」



▲向羽黒山城跡(空撮)



▲左下り観音堂

詳しくは、まちの駅 会津美里 → 0242-56-4637  
<http://misatono.jp/>

浜・中・会津 web サイト公開中! → <http://fukuori.com/kitemina/>

# 第151回 たかはしこうじの マーケティングスパイス 2

今月のテーマ:強みを制する



高橋 幸司

有限会社高橋幸司の事務所取締役社長。価値負けしない店・づくりマン、中小企業診断士。お客様に「あなたの店がないと、私、困っちゃう」と言わせる、存在価値で負けない店づくりを志向。商売大好きオーナーの店だけを一所懸命コンサルティングするかわら、社員教育、マーケティングセミナー、創業塾、各種講演、執筆もたくさんこなす。1966年福島県生まれ。

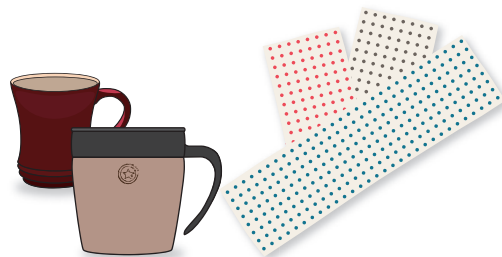
「今期はいくつかのコーナーで商品を減らしたにもかかわらず売上が伸びた」。この興味深い報告は雑貨店の女性店主からのものだった。彼女の店は、商品を沢山棚に並べる高密度な陳列が特徴で、お客様が宝探し感覚で店内を回遊し買物を楽しめるのが強みだったが、なぜ商品を減らしたのか？

私は1年前の店主の言葉を思い出した「什器の奥にある商品や積み重ねられた商品の中から、自分好みの商品を探し出せるお客様が減った気がする」。あれから彼女は商品によっては売れてもすぐに補充せず、コーナーごとに品揃えを吟味し直したいという。それと同時に掃除を兼ねて商品に触れ、自店ならではの商品を確認し、前出し陳列を徹底した。数十種類あった手ぬぐいも売れたら同じものを仕入れず、他店にもある定番は薄く、なさそうなものを厚く品揃えし、結果的に品数を3割も減らしたが売上は1割も伸びた。サーモマグは限定色や限定デザインをくり直しPOP訴求すると、商品を2割減らしたにも関わらずこちらも売上が伸びた。これを契機に他のコーナーも売れたらすぐに同じものを仕入れず、棚にゆとりを持たせ、自店ならではの商品に絞って目立たせた。

もともとこの店のお客様の多くは、他にない商品を探しに来

ていたが、お客様に聴かれて「ありません」と言いたくなかった店主は他店にもある無難な商品の発注も続けていた。「商品を絞り込んでからお客様が商品選びに迷わなくなった気がする」という言葉から彼女の自信が感じられた。

前号で紹介した靴店を覚えているだろうか。かつての強みであった幅広い品揃えを絞り込み、売場を圧縮せざるを得なかったが事業は好転した。今回の雑貨店もあえて強みを制したが結果は良好だ。経営の教科書には「強みは伸ばせ」と説くものが多いが、これら2店の事例をみると自店の存在価値を失わないためには、お客様に合わせて強みを制したり、従来の強みを捨てて新たな強みを育てることも有効な経営判断だと言えそうだ。  
(平成29年1月31日執筆)



vol.67

## てっこちゃん

キラアスカ作

鍋スープの試食をいただきませう

この商品はとてもいいのに売行きが悪くて

肝心の野菜が高いですもんね...

きのご多めならヘルシーでお財布に優しいわ

メは余りの冷たいごはんとか

余った餃子の皮も有りです

ここで鍋奉行に...

## 今日は何の日? カレンダー

2018 3 弥生 March

sun	mon	tue	wed	thu	fri	sat
	さくらの日(3月27日):日本さくらの会が1992(平成4)年に制定しました。さくらと「3(さ)×9(く)=27」の語呂合わせです。日本の歴史や文化、風土と深く関わってきた桜を通して、日本の自然や文化について関心を深めてもらうことを目的としています。日本さくらの会は学校への情報などを行っています。			1 友引 デコボンの日 マヨネーズの日 ピキニデー	2 先負 ミコの日 遠山の金さんの日 カリンカーンター生誕(1950)	3 仏滅 雛祭り 耳の日 ささみの日
4 大安 つつしき祭り(伊達市) サッシの日 パウムクーヘンの日	5 赤口 ミスコンの日 巫女の日 スチーフーデスの日	6 先勝 啓蟄(二十四節氣) 弟の日 エステティックサロンの日	7 友引 消防記念日 サウナの日 山口百恵芸能界引退発表	8 先負 サワークリームの日 さやえんどうの日 鯖すしの日	9 仏滅 ミックスジュースの日 雑穀の日 酢酸の日	10 大安 サボテンの日 ミンツの日 砂糖の日
11 赤口 東日本大震災(2011) 横綱白鶴生誕(1985) パンダ発見の日	12 先勝 スイーツの日 だかしの日 小野田少尉帰還(1974)	13 友引 新選組の日 青函トンネル開業記念日 サンドイッチデー	14 先負 ホワイトデー マシュマロデー キャンディーの日	15 仏滅 万国博デー 靴の記念日 オリーブの日	16 大安 国立公園指定記念日 財務の日 トコロの日	17 友引 いなり寿司の日 滅亡の日 漫画週刊誌の日
18 先負 国産車トヨタミラー認可(1983) 点字ブロックの日 精霊の日	19 仏滅 ミュージックの日 カメラ発明記念日 「はとバス」運行開始(1949)	20 大安 カツオの日 LPLコードの日 サプルの日	21 赤口 春分の日 ランドセルの日 卵の日	22 先勝 世界水の日 放送記念日 日本銀行本店落成(1896)	23 友引 世界気象デー 天ぷらの日 黒澤明生誕(1910)	24 先負 世界結婚デー マネキン記念日 塩ノ浦の戦いの日
25 仏滅 電気記念日 独立記念日(中リジヤ) エルトン・ジョン生誕(1947)	26 大安 カチューシャの唄の日 独立記念日(バングラデシュ) ブルーンの日	27 赤口 さくらの日 利休忌 佐藤栄作生誕(1901)	28 先勝 シルクロードの日 スリーマイル島の日 レディー・ガガ生誕(1986年)	29 友引 マリモ記念日 八百屋お七の日 作業服の日	30 先負 マフィアの日 【巨人の星】放送開始(1968) エリッククラプトン生誕(1945)	31 仏滅 オケストラの日 日本の総人口1億突破(1966) エッフェル塔完成(1889)

AR 広告サービス [ココアルツ] マークのある写真をCOCOAR2でかざすと動画が再生されます。

**COCOAR2** あらかるとの内容を動画やwebでもお楽しみください!

お手持ちのスマートフォン、タブレットでCOCOAR2を検索!!  
iPhone/iPad → App storeから  
Android OS → Google playから

**KenOri**  
発行/株式会社ケンオリ <http://kenori.com/>  
〒963-0724 福島県郡山市田村町上行合字北川田26-3  
TEL(024)944-8400(大代) FAX(024)944-9980

【福島支社】  
〒960-2101 福島市さくら3-2-7  
TEL (024)594-2155 FAX (024)594-2156

【会津若松営業所】  
〒965-0059 会津若松市インター西75  
TEL (0242)22-6300 FAX (0242)22-6302

【いわき営業所】  
〒970-8025 いわき市平南白土2-6-3  
TEL (0246)24-2500 FAX (0246)24-2504

【仙台営業所】  
〒980-0014 仙台市青葉区本町1-13-24 銀ビル2F-A  
TEL (022)217-6766 FAX (022)721-5580

staff/Hoshi Watanabe Nakamura Yamaguchi Inatsuki Hirose Sato Aoyagi Ishigaki